

地域社会との緊密な連携を築く

地域の人とともに子どもの健全育成を支援するPTA活動

大治町立大治中学校PTA

1 はじめに

本校は、生徒数 999 名（令和 4 年 4 月 7 日現在）の大規模な学校である。愛知県の西部に位置し、海部郡に属する町である。名古屋市の西に隣接しており、名古屋駅にも近い住宅地開発が進んでいる地域である。



【大治中学校】

大治町には 3 つの小学校があり、中学校は本校の 1 つのみとなっている。大治町唯一の中学校として、町役場や教育委員会、地域の方々からの大きな支援を受けることで、生徒たちは安心して毎日の学校生活を送ることができている。

現在は、どこの地域の P T A 活動も新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動が制限され、活動内容の縮小及び変更、あるいは中止で対応を余儀なくされている現状がある。このような状況の下ではあるが、地域の人とともに今目の前にいる子どもたちの健全育成を支援するために P T A 活動を可能な限り止めることなく現状にあった形で行っていかれたらと思う。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校 P T A の目的は「学校と家庭の連絡を密にし、生徒の福祉を増進し、会員の研修を盛んにする」と「学校の教育的環境を整備し、地域の社会教育の振興を図る」の 2 つである。P T A の目的を意識しつつ子どもたちが安心して学校生活を送れるように P T A 活動を行っていく。

この 2 年、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応による影響で多くの活動を制限することとなってきた。今年度は可能な限り目の前にいる子どもたちのために現況にあった方法で P T A の支援活動を行っていかようと考えている。

(2) P T A 組織と主な活動

本校の P T A 組織は、会長をはじめとする P T A 役員 1 2 名（会長 1 名、副会長 2 名、庶務 2 名、会計 2 名、委員長 3 名、監査 2 名）と厚生委員会、生活委員会、環境委員会の 3 つの委員会に所属する委員 2 7 名とで構成されている。主な活動内容は以下の通りである。

執行部…執行部会、委員会総会、学校祭、体験教室・研修会、会計監査 等
厚生委員会…給食試食会、研修会（つるし飾り制作）、観劇会（劇団四季）等

生活委員会…あいさつ運動、夏祭り校外指導、制服リサイクルバザー 等
環境委員会…校内花壇整備、校内清掃活動 等

3 実践活動の概要

(1) あいさつ運動

6月21日(火)に町内の小・中学校のPTAを中心としてあいさつ運動を行うことができた。近年はコロナウイルス感染症の影響のため小・中学校合同で行うことができなかったため、今年度は一歩進んだ形で実行することができた。PTA役員だけでなく、学校の教職員、教育委員会、民生・児童委員、



【あいさつ運動の様子】

おやじの会など幅広い地域の方々に協力をいただき、児童生徒の交通安全を確保しながらあいさつ運動を行うことができた。あいさつ運動に参加したPTAの方々からは「今日はありがとうございました。PTAだけでなく学校の先生やたくさんの民生・児童委員の方に見守っていただき、子ども達も心強く感じたのではと思いました」「明るくきちんと挨拶ができていたと思います。生徒の明るい声があるとこちらも明るく元気がもらえるような気持ちになります。先生方のご指導ありがとうございます」等と温かい言葉を聞くことができた。今回あいさつ運動を行ったことで反省点も出てきているので、改善できるところを改めて2回目となる2月の活動につなげていく予定である。

(2) 図書室の整理

大治中学校では、地域のボランティアの方々に本の整理でお世話になっている。昨年度から引き続きで、図書ボランティアの「ハーモニー」に生徒用図書へバーコード添付をする作業を毎月2回ほど行ってもらっている。「ハーモニー」は、主に大治中学校の卒業生や在校生の保護者の方々に組織されている。



【図書室整理の様子】

子どもたちが本に触れて、様々なことを学ぶことができるように、町内の小・中学校の図書室を率先して整備してもらっている。

7月14日(木)には、「ハーモニー」だけではなく、大治町の「はるボラフレンズ」にも応援をしてもらっている。「はるボラフレンズ」は、学校の要請に応じて、学校の教育活動や環境整備など、自らできることを、できるときに、できるところから支援するという大治町にあるボランティア団体である。

図書室の位置が本館4階にあり、2年生のいる南館から移動していく

と往復するだけで3分程度かかるので、本をゆっくり選ぶことができない問題がある。バーコードの整備が今後進めば、図書委員会によってより円滑に本の貸し出しができるようになる。そうなれば、10分しかない休み時間を使っての本の貸し出しが容易になり、図書室の稼働率があがることを「ハーモニー」の皆さんは嬉しそうに話していた。子どもたちのために一生懸命に作業を進めてくれる皆さんには生徒も保護者も感謝している。

(3) 夏祭り校外指導

8月6日(土)の夕方、大治西小学校で行われる盆踊りへ校外指導に行くために、大治中学校の校門にPTA役員で集合をした。ここしばらく、コロナウイルス感染症対応で中止となっていた行事であることから、人が例年より多く集まることを予想して、子どもたちの安全を確保することが目的である。出店もあるので、早い段階から地域の消防団も警備に出ていた。その他にも、大治町内の小中学校の教職員、大治西小学校のPTA役員、町役場、教育委員会の方々など地域にかかわる人たちの支えによって、落ち着いた雰囲気の中、盆踊りや大治太鼓の披露等が行われていった。子どもたちも大変楽しみにしていて、久しぶりの夏の行事を大いに楽しむ様子が見られた。これも地域の人たちの協力によって安心できる場が作られたからこそその結果であるといえる。

(4) 学校祭

10月12日(水)、13日(木)と二日続けて大治中学校では学校祭が行われた。12日は昼まで体育祭、午後から文化祭の有志発表が体育館で行われた。13日の文化祭では、合唱コンクールが行われた。そのほかにも学校祭が行われている2日間、同時進行で作品展が行われた。そこでは生徒の作品以外に7月5(火)にPTA研修会で制作された「つるし飾り」を展示することとなった。



【つるし飾り】

大治中学校の学校祭では、毎年PTA役員やおやじの会、「はるボラフレズ」の皆さんがボランティアとして積極的に活動している。今年度も受付業務や来客の対応、会場の整理、生徒の活動している姿の写真撮影等を精力的に行っていた。PTA役員からは「役員として写真を撮ったり、間近で子どもたちの姿を見ることができたりしたので楽しく活動に参加することができた」「学校祭が終わってしまって寂しい」「来年はコロナ感染症のことがさらに解決されていくと思うので、よりよい学校祭となれば嬉しい」等の声を聞くことができた。地域に住まわれる皆さんの協力があってこそ安心安全に学校祭を行うことができたといえる。

(5) 学校運営協議会

大治町では、今年度より学校運営協議会を開催することとなった。本町の学校運営協議会は、大治町立小中学校の学校運営や必要な支援に関して協議する機関として、大治町教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者や地域住民などによる学校運営への参画、学校運営への支援及び協力を推進することを目的としている。学校と保護者及び地域の人々との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことに繋がればと考えている。



【学校運営協議会の様子】

今年の10月11日（火）に第1回目の会議が本校で行われた。第2回は令和5年の3月9日（木）に予定をしている。学校運営協議会は動き始めたばかりであるが、第1回目の会議では、「土日の部活動の地域移行についてどのようになっているのか」「コロナウイルス感染症で中断されてきた学校行事などが今後どのようになっていくのか」等について地域代表の方々から様々な意見を聞くことができた。子どもたちのために今後様々な面での意見を交換することで、大治中学校をさらによりよい学校へしていきたいと考えている。

4 おわりに

本年度のPTA活動では、地域社会との緊密な連携を築くという視点で、地域の人とともに子どもの健全育成を支援することをめざして行ってきた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、予定されていた給食試食会が実施できなかつたことが残念であるが、ほぼ予定通りに行事等を行うことができた。これも、地域の皆様からの温かい支援のお陰であると強く感じている次第である。



【体育祭の様子】

11月には校内清掃活動が予定されている。昨年度までは、地域の方々の協力により学校のトイレ清掃を中心に行ってきたが、今年度はトイレではなく校庭の側溝掃除や校舎の窓ふきを行っていく予定である。その折に花壇の手入れもして子どもたちのために環境を整えていけたらと考えている。

学校の教育活動は、一年間を通して常に地域の方々に支えられているということを皆さんと一緒に活動することでPTAとしても強く感じている。今後も地域と共に力を合わせて子どもたちの成長のために子どもたちが安全に学びに集中できるように環境を整えていこうと考えている。